

自第一號（令和三年六月）
至第四號（令和四年三月）

東洋史研究

第八十卷 總目次

東洋史研究會

論 說

「法」思想小考——統一秦の國家理論の一側面——	王 蘇	一	(一)
益州劉二牧政權からみる漢末州牧の地方統治	新津健一郎	一	(三七)
モンゴル帝國における「燒飯」祭祀	白石 典之	一	(六)
一九二〇年華北大飢饉下の威海衛における救荒政策	古泉 達矢	一	(四)
一九一〇～三〇年の慶尙南道沿海部における漁場整理と「漁民」の動向	大沼 巧	一	(三六)
唐朝の羈縻政策に関する一考察——唐前半期の營州都督府隸下「羈縻府州」を事例として——	森部 豊	二	(〇九)
永樂四年十一月の醴泉湧出——瑞祥發生をめぐる稱賀文書と金籙齋——	乙坂 智子	二	(五)
日本の琉球侵略後の明の對日警戒	木村可奈子	二	(九七)
重慶國民政府の歴史教科書	土屋 洋	二	(三九)
宋代學記の變遷	梅村 尙樹	三	(七七)
順天府檔案に見る寶坻縣の中閭團體と鄉保	伍 躍	三	(四八)
植民地化前後の朝鮮における儒教的養子制度をめぐる變化	田中美彩都	三	(四七)
——関泳翊(一八六〇—一九一四)の事例を中心に——	岩本 佳子	三	(五〇)
「ワクフのレアーヤー」たる遊牧民——オスマン朝における徵稅權の複層化とその影響——	鹽野崎信也	三	(五四)
ロシア帝政期南東コーカサスの離婚裁判——2度結婚した後に2度離婚した未婚女性の事例——	土口 史記	四	(五六)
秦代の御史と監御史	下倉 涉	四	(六二)
供養と宿衛——あるいは外戚當權なる事象が漢代において頻出する要因の一斑について——			

河口通事と一九世紀の琉清關係——逗留西洋人宣教師退去の請願運動を中心に——	張子康	四	(六三)
中華民國期上海共同租界における政治犯引渡について	郭まいか	四	(六八)

書評

岩井茂樹著『朝貢・海禁・互市——近世東アジアの貿易と秩序——』	豊岡康史	一	(一七)
小濱正子著『一人っ子政策と中國社會』	上田信	一	(一九)
太田 出著『關羽と靈異傳說——清朝期のユーラシア世界と帝國版圖』	小武海櫻子	三	(四九)

近刊叢欄

一 (二〇三)	二 (三六九)	三 (五〇九)	四 (七一九)
---------	---------	---------	---------

大會抄錄

『世本』と史記學——『史記』三家注所引『世本』佚文の形態について——	李弘喆	三	(五三)
清朝康熙初年の政局と輔政大臣	磯部淳史	三	(五三)
天津における事大の變容——高麗紙をめぐる議論に着目して——	森萬佑子	三	(五四)
中世アラビア語圏のユダヤ知識人によるカラームの學の擁護と「ヘブライ語の忘却」	法貴遊	三	(五五)
一八四〇年代ヒヴァ・ハン國の對露交渉——捕虜解放、通商、國境の諸問題をめぐって——	鹽谷哲史	三	(五五)
二〇世紀前半ペルシア灣の眞珠採取業と二重の拘束——奴隸制と負債——	鈴木英明	三	(五六)
一五四四年、ポルトガル人の朝鮮漂着と泉州海商	中島樂章	三	(五六)

軍功と賜爵——秦漢二十等爵制の考察——	佐川 英治	三	(五七)
一人っ子政策と中國のジェンダー秩序	小濱 正子	三	(五八)